リレーエッセイ

ハードルを越えて⑲

長丸（ちょうまる）　修一（しゅういち）さん
（霧島市）

大学時代に不慮の事故で頸椎を損傷し、首から下の運動機能を失いました。当時は不自由な暮らしに生きる気力を失い、自暴自棄に陥ってしまいました。そんな中、家族の懸命な介護でなんとか元気を取り戻し、大学へ復学して仲間に支えられながら無事に卒業することができました。

始めて絵を描いたのは12年前。事故によって心配と苦労をかけた母への感謝の気持ちを込めて、「母の日」にプレゼントしました。ザラ紙の落書き帳に百合の花を描いたものですが、母はいまでもその絵を額に入れて大事に飾ってくれています。「体の自由を失っても、すべての可能性を失ったわけじゃない」ということを強く意識したのもこの頃のことです。

絵は、ベッドの上で筆を口にくわえて描きます。根気と集中力のいる作業のため、作業は1日2時間が限界。ひとつの作品を仕上げるには、大体2～3ヶ月ほどかかります。首や肩にもかなりの負担がかかってしまい、根を詰めすぎて熱を出したこともありました。それでも、絵を描くことが私の生きがい。展示会などで、自分の絵を見てくださった方に「感動しました」「ありがとう」「自分も頑張ります」などと言われると、次の作品を描く力が湧いてきます。

私が描くものは、花や植物、地元の何気ない農村風景など。自由に外出できるわけではないので、写真を参考にしながら、空気感や存在感をできるだけ忠実に再現します。写実的な絵を描くのは、筆を通していろんな場所を旅してみたいから。ひと筆ひと筆を緻密に描き、時間をかけてじっくりと絵と向き合うことで、実際にその場にいるような気分になることができるんです。いっけん油絵のように見えますが、実は幾重にも色を塗り重ねた水彩画。前号の「ありば」で油絵の作品を紹介されていた曽山さんとは、たまたま以前からの知り合いで、「口で描くには油絵の具は重い。水彩画のほうがいいんじゃないか」ということを教えてもらいました。今でもお互いの展示会に顔を出したり、いろいろと相談にのっていただいています。

最近は展示会のほかに、小中学生を対象にした講演活動なども行っています。講演では実際に筆を口にくわえて描く作業を実演してみせます。たとえ手足が動かなくても、頑張れば何かができるんだという姿を子どもたちに見せることで、自分の可能性を信じて頑張ることの大切さを伝えていきたいと思っています。

現在制作中の「椿の花」。黒画用紙の上に、3輪の赤い花が生き生きと咲く

初めて描いてお母さんに贈った「百合の花」の作品

KAGOSHIMA

鹿児島のいろいろな建物や施設、
あるいは人の心の中にあるバリアが取りはらわれています。
一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen

人と水をやさしく繋いで
体と心の健康づくりをサポート

鴨池公園水泳プール

（鹿児島市）

住所　鹿児島市鴨池2-31-3
TEL　099(251)1288
FAX　099(808)0021
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.seika-spc.co.jp/kamoike

●平成23年4月にリニューアルオープンした鴨池公園水泳プール。子どもから大人まで、市民みんなが楽しく快適に利用できる施設であり、同時に鹿児島県全体の水泳振興の拠点となる本格的なコースを備えた施設だ。国際公認の50mプールは水深を調整できる可動床システムを採用し、水球やシンクロナイズドスイミングにも対応。同時に環境調和への取り組みとして、自然環境の有効活用と省資源による運営を実現している。

また、バリアフリー設計はもちろん、その使い心地や居心地にまで配慮を施した、慈しみと親しみやすさのある設計思想が大きな特徴。23年6月には九州身体障害者水泳選手権大会を開催。ステンレス製車椅子の貸し出しや、車椅子のまま観戦できる身障者専用の客席、館内放送や音楽を聴けるイヤホン機器の提供など、利用者のあらゆるニーズに対応する柔軟な取り組みが注目されている。

短い動線でプールエリアにアクセスできる多目的更衣室

ミルク用の温水器を設置した授乳室

オストメイトに対応し、車椅子でも使用しやすい洗面カウンター、衛生器具を設置

心の輪を広げる障害者理解促進事業

障害の有無にかかわらず，国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を目指し，障害者に対する理解促進を図るため「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」を，内閣府並びに都道府県及び指定都市の共催で，毎年度公募しています。ご応募お待ちしています。

［問い合わせ先］　鹿児島県 保健福祉部 障害福祉課　ＴＥＬ０９９-２８６-２１１１（内線２７４６）

平成23年度 公募結果

～心の輪を広げる体験作文～

○鹿児島県最優秀賞／小学生部門

作品名「こうりゅうかい」

姶良市立竜門小学校２年　中島（なかしま）　蘭（らん）　さん

○鹿児島県最優秀賞／中学生部門

作品名「兄と僕、それぞれのままで」

鹿児島市立星峯中学校２年　馬場園（ばばぞの）　伶生（れい）　さん

（鹿児島県が最優秀賞者を決定し内閣府へ推薦した結果，国においても優秀賞（内閣府特命担当大臣賞）を受賞）

※ 受賞者の写真は「平成２３年度 鹿児島県障害者保健福祉大会」での作文朗読時のものです。
※「障害者週間のポスター」部門は，本年度は残念ながら入賞作品はありませんでした。